

スタッフブログ「わくわくつくログ」たくさんの方に見ていただいております。嬉しい限りです。特に、特に人気がある記事は、、、調べましたところ、やっぱり、といったところでしょうか。広島県立美術館さんからのチケット提供をメインに、プレゼント企画が大人気です。現在している原始的なくじ引き方法での抽選に個人的に限界を感じているこのごろです。5月も平成27年度第1期HPAMコレクション展のチケットプレゼントがごございます。どしどしご応募ください。(応募ページ URL <http://waku2.npoart.com/present/20385.html>)



於 夢トピア いきいき教室  
(児童ものづくり教室)  
(児童デイの試行)



2012年の児童福祉法改正で、障がいのある就学児童・生徒を対象にした「放課後等デイサービス」が始まりました。民間企業が参入し、さまざまな特徴のある事業所が増え選択の幅が広がっています。

今回は、いきいき教室という、もみじ福祉会の障がい者生活支援センター めーぷるが行う活動を紹介します。現在、ミニナルアートのスタッフが、月に2回程度講師に呼んでいただき、仲間と創作を楽しんでいます。

《いきいき教室とは 配布の案内より抜粋》

「障害児に豊かな文化と遊びを地域に」の保護者の強い願いに応え、もみじ福祉会はいきいき教室（児童ものづくり教室）を開催しています。「ものづくり・おとづくり・からだづくり」を中心に活動を重ね、参加する児童の笑顔に手応えを感じながら、人との関わりを広げより豊かな実践をめざしています。みんなで豊かなよりよい活動の場をつくりましょう。

この活動に関わってこられたM先生のお話しでは、さかのぼること5、6年前、障がいを持った子ども達の保護者から『夏休みの子ども達の居場所と活動』について相談があり、3名の有志の集いから始まったそうです。木工、陶芸、リトミック、和太鼓、紙漉き、染色、クッキング、園芸、さらに流しそうめんや餅つきなどの楽しいイベントを年間通して行っています。

M先生と、めーぷるのスタッフさん、ヘルパーさん、家族、本人、テーマごとの講師。いろんな立場、いろんな関係の人が集まるのもこの教室の魅力です。ここには学校や事業所とも違う社会があります。私も講師であるという立場と同時に、同時に30代の1人の人として関わっています。近所のおねえちゃん（おばちゃん？）的な感じでしょうか？支援の仕方を教えあったり、昔の話を聞いたり、活動の中のたのしいポイントを発見したり。関わり始めて5年目、小学生が中学生になり、高校生になっていきました。ちょっと前を振り返りながら、子供たち一人ひとりの成長をみんなでよろこぶような、そんな雰囲気がいきいき教室にはあります。

4月24日は、板締めという染色の模様をつける技術でこいのぼりを作りました。いきいき教室でする内容は、季節感のある作品作りや、そのときにしか出来ないことを心がけています。制作のポイントに、自由にしていとところと、決まったことをするところを用意しています。今回はこいのぼりの『眼』の部分は自由、胴体のうろこ模様は決まった方法。この2つの要素を造形に盛り込んで、ひとつの作品作りを行います。

最後に作品を鑑賞して、お互いに拍手を送りあう、いきいき教室はそんな素敵な活動です。

いきいき教室のお問い合わせ

社会福祉法人もみじ福祉会 障害者生活支援センター めーぷる

広島市西区観音新町3丁目-9-9（夢トピア内）

TEL / 082-503-5758 FAX / 082-295-0303

